

学校教育目標	「ともに 未来を ひらく とみひのせいと」				
	◇社会生活に必要な基礎・基本の定着を図り、自ら学び続ける姿勢を育みます。(知) ◇様々な学び合いを通して、豊かな人間関係をつくる力と、未来を拓く精神を育てます。(徳・開) ◇学校生活や地域の様々な体験に積極的に取り組む姿勢を培い、個性を伸ばしながら、心身を鍛えます。(体・公)				
学校概要	創立 44 周年	学校長 矢田 弘	副校長 張間 直人	3 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 427 人	主な関係校: 並木第一小学校 並木中央小学校 富岡小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	並木・富岡東中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
《自分づくりに関する力》 ◇主体的に未来を拓く力 ◇よりよい社会を創る態度	並木中学校 富岡東中学校 並木第一小学校 並木中央小学校 並木第四小学校	「聴く力」「発信する力」を身に付けた子ども ◆相手(他者)を受け止め、自分の考えを深めていくことのできる「聴く力」を意識し、日々の教育活動を行います。 ◆自分と相手(他者)とのかかわりの中で、考えの共通点や相違点を認め、自分のことを相手に伝えようとする思いがもてるように支援します。 ◆「あいさつ運動」を通して、児童生徒の目を地域に向け、地域と自分とのコミュニケーションについて考える機会を設けます。

中期取組目標	◇夢や目標の実現に向けて、主体的に判断し、実行できる力を育てます。 ◇社会の変化に対応し、学び続ける意欲と態度を育てます。 ◇自他の違いやよさを認め、尊重し、互いに高め合うことができる態度を育てます。 ◇地域活動に積極的に参加し、地域とつながり、社会に貢献しようとする態度を育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①授業評価を生かし、ICTを使用するなど教材の探求や組み立ての工夫をし、分かる授業を行います。 ②少人数授業や、チームティーチングを生かして、「個に応じた指導」を充実させ、学習改善をめざします。 ③コミュニケーションを大切にし、学びやすい環境を整え、主体的に学習を進められるようにします。b1
担当	学習指導部	
徳	道徳教育	①「道徳の授業」を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を充実させます。 ②全生徒が「人権作文」を書くことを通じて、人権尊重の重要性・必要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身に付けさせます。 ③題材によって、学年職員全員でローテーションしての授業を行い、道徳の授業力向上を目指します。
担当	学習指導部	
体	健康教育	①保体の授業だけでなく、昼休み等にもスポーツに親しむ意識を高めます。 ②心身の健やかな成長のために、よりよい食生活を実現しようとしたり、ストレス対処のための適切な行動を選択する態度を育みます。 ③マスクや手洗い等、感染症予防を日常的に実践する意識を高めます。
担当	生活指導部	
公開	自分づくり教育(キャリア教育)	①キャリア教育を通して、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら、一人ひとりが社会参加への意識を高めていきます。 ②「自分づくりパスポート」を活用して、自分の学校生活を振り返ることで自己評価ができるようにします。 ③学級活動・生徒会活動・学校行事において、生徒が自分の役割を見つけ、最後までやり抜く力を育むことを目指します。
担当	特活指導部	
特別支援教育		①さまざまな課題を抱えている生徒の状況を把握し、適切な支援と配慮が行える環境を整え、全職員で組織的に対応します。 ②校内ハートフルを有効に活用し、しおかぜルームに誰もが安心して登校できる環境を整えます。 ③トミヒルームでの学習支援を組織的に行います。
担当	特別支援教育推進委員	
児童生徒指導		①子どもに対して共感的に理解する姿勢をもち、信頼関係に基づく生徒指導の実践を目指します。 ②関係機関との連携を強化するとともに地域の課題把握と未然防止に向けた実践を行います。 ③自尊感情の育成を目指し、子ども一人ひとりが認められ、自分自身を大切に思える教育を充実させます。(誰もが安心して豊かに生活できる学校を目指します。)
担当	生活指導部	
いじめへの対応		①先を見通した指導を充実させ、日頃の授業や体験活動を通して、子どもの自己有用感を感得させることで、いじめの起きにくい風土を構築します。(授業と指導の一体化を目指す。) ②Y-Pアセスメントや学校生活アンケートを活用し、早期発見に努め、組織的且つ迅速に対応します。 ③SCやSSWとの情報共有や外部機関との適切な連携を図り、被害・加害生徒及びそれぞれの保護者への指導・支援に努めます。
担当	いじめ防止委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①校内授業参観や定期的に課題研修を行い、教員の育成を図ります。また、メンターチームを定期的に開催し、学習指導と生徒理解・生徒指導等の実践力を高めます。 ②主任会や各会議などでの情報交換や意見交換を充実させ、円滑な学校運営に努めます。 ③事務の効率化を図り、全職員の組織的な働き方改革につなげます。
担当	総務部会教務部	
地域学校協働活動		①子どもの成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図ります。 ②地域住民とのつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図ります。 ③学習支援ボランティアや主任児童委員との定期的な情報共有を行うことで、不登校やいじめ防止に努めます。
担当	生活指導部(専任)	